

第 36 回分析化学基礎セミナー（無機分析編）：2 日間講習 －現場技術者の分析技術の基礎習得へ向けて－

主催 （公社）日本分析化学会

近年、多くの分野で使用されている分析装置にコンピュータが付加され、多くの機能が設備されるようになってきました。それに伴い、専門的知識や技術を有していなくても誰にでも簡単に操作でき、分析操作時間の短縮や分析の効率化が図られています。特に、民間の分析に携わる部署ではコスト削減、分析の効率化が念頭に置かれて分析作業が進められています。また、教育機関においても「分析化学」の講座が減少の傾向を呈しているなか、新しい分析技術の教授には多少の時間が割かれても、分析を行うに必要不可欠な基礎的技術・知識の習得となると、厳しい状態に置かれています。このような現状とは無関係に、社会においては低濃度レベルの分析の要求が強くなり、そのうえ、信頼性のある分析値を必要とされ、ますます分析化学の重要性が認識されてきています。特に、分析の信頼性に関しては世界的規模で重要視され、わが国においても試験所認定や技能試験の制度が実施され、その確保に力が注がれています。しかし、現在の社会的背景の中では分析に携わる技術者の能力の確保には不安要因もあり、それを払拭すべく対策の一つとして開催しています。本セミナーは無機分析に関連した講義を中心としていますが、分析化学の基礎を習得するうえで是非とも知っておくべき内容を多く含み、大学の授業では教えていないようなノウハウや実務に役立つことを講義しますので、有機・無機分析を問わず受講されることをお勧めします。本セミナーは大変好評で、これまでに 2,000 名を超える方々が受講しています。開催 10 年を期して講習内容等を見直し、年 1 回開催の 2 日間として講義時間を延長すると共に、「いまさら聞けない機器分析」を企画いたしました。分析技術の基礎を学びたい方、もう一度学び直したい方は、この機会に奮ってご参加ください。

期日 2018 年 6 月 26 日（火）・27 日（水）

会場 エッサム本社ビル 3 階グリーンホール〔〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-26-3、交通：JR 神田駅東口徒歩 3 分、東京メトロ銀座線神田駅 5 番出口徒歩 1 分、東京メトロ丸の内線淡路町駅 A2 出口徒歩 5 分、都営新宿線小川町駅 A2 出口徒歩 5 分、JR 秋葉原駅電気街口徒歩 6 分、JR 新日本橋駅 4 番出口徒歩 9 分、〕

対象者 現場で分析実務を担当している技術者及び「分析化学の基礎」を習得しようとする者で 2 日間全講義を受講できる方

目的 分析技術の基礎的技術の習得と向上に向けての教育

受講申込締切 6 月 1 日（金）（必着）

募集定員 60 名（定員に達ししだい締め切ります）

【講習内容】

第 1 日 {6 月 26 日（火）13 時 30 分～16 時 50 分}

1. (13.30～14.20) ピペットおよび電子天びんの使い方と検量線の作成方法（島津製作所）宮下文秀
2. (14.30～15.15) ろ過-ろ材の選び方とその使い方（千葉大学）小熊幸一
3. (15.25～16.25) 汚染の原因とその管理（ジューエルサイエンス）米谷 明
(16.25～16.45) 質疑応答

第 2 日 {6 月 27 日（水）9 時 20 分～16 時 55 分}

4. (9.20～10.10) 酸やアルカリ試薬による金属と無機化合物の溶かし方（Yoshikawa Sci. Lab）吉川裕泰
5. (10.20～11.10) 標準液の役割と取り扱い上の注意（化学物質評価研究機構）上野博子
6. (11.20～12.00) マイクロ波を利用する加圧分解法（イアス）一之瀬達也
7. (12.40～13.20) 分析化学を学ぶ－信頼性確保に向けて－（実行委員長・東京都市大学）平井昭司
8. (13.30～14.40) 分析値の提示と分析値の意味（明星大学）上本道久
9. (14.50～16.35) 「いまさら聞けない機器分析」～原子吸光分析、ICP 発光分光分析、ICP-質量分析等を例に～（島津製作所）舛田哲也
(日立ハイテクサイエンス) 白崎俊浩
(パーキンエルマージャパン) 敷野 修

(16.35～16:55) 質疑応答、個別相談及び受講証授与

※16 時 55 分終了予定。講習時間及び講義順は、変更する場合があります。

受講料 日本分析化学会会員（個人・団体会員）25,000 円，会員外 37,000 円（税込み）

※団体会員の特別・公益会員は1名のみ会員扱いとします。維持会員の事業所は複数名受講でも会員扱いとします。

受講証の発行 受講者には「分析化学基礎セミナー（無機分析編）」を受講し，講習を受けたことの受講証を日本分析化学会から発行します。なお，受講証は第2日のセミナー終了時にお渡しします。

受講申込方法 日本分析化学会ホームページの「Navigation」→「講習会・セミナー」→「分析化学基礎セミナー（無機分析編）」にある「受講申込書」をダウンロードしてください。以下の項目をご記入のうえ，E-mail 又はFAXでお申し込みください。(1)「第36回分析化学基礎セミナー（無機編）」と題記し，(2)受講者氏名，(3)氏名ふりがな，(4)年齢，(5)勤務先，職名，(6)連絡先（所属，所在地，郵便・電話・FAX番号，E-mail），(7)会員，会員外の別（本会会員の場合は会員IDを必ず記入），(11)受講料送金額を明記のうえ，お送りください。なお，(8)～(10)及び(12)の項目は記入不要です。電話での申し込みは受け付けません。なお，(2)(5)は受講証発行にも使用いたしますので，正確にご記入ください。

送金方法 受講申込到着後，請求書を送りますので，指定口座に受講料を6月8日（金）までにお振り込みください。受講券等は会期の約一週間前に発送する予定です。振込手数料は貴方でご負担ください。なお，受講料の返金はいたしませんのであらかじめご了承ください。

申込・問合せ先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304号 日本分析化学会 分析化学基礎セミナー（無機編）係〔電話：03-3490-3351，FAX：03-3490-3572，E-mail：koms@jsac.or.jp〕